



オランダ王国ウェラントカレッジ 20年続く心と心の交流

渥美農業高等学校

平成9年、創立50周年記念事業として始まったオランダ王国ウェラントカレッジとの姉妹校交流は、平成10年4月に第1回の生徒派遣が行われてから今年で20回目となります。この事業は、国際感覚を持った人づくりを通して地域の振興・発展に寄与することを目的として行われており、本校教育活動の目玉の1つです。本校からは、毎年10名程度の生徒を派遣しています。

今回はそんな国際交流の歴史を語る宝物を紹介します。皆さんも本校を訪れたときにぜひ探してみてください。

姉妹校提携書と共同宣言

本校の校長室には、「姉妹校提携書」と「共同宣言」が飾られています。姉妹校提携書は、平成9年にオランダで調印が行われたものです。日本語版と英語版が作られ、国際交流実行委員長、校長などが署名しました。共同宣言は、姉妹校提携20周年を祝うために、平成29年に本校で調印されたもので、「日本国とオランダ王国との国際親善をはかり、その高邁な理想を継承していくために共同宣言を採択する」と記されています。



● 姉妹校提携書の英文(左)と和文(右)

記念植樹

第2回(平成11年)から第5回(平成14年)までの派遣交流で、姉妹校の生徒が本校を訪問したときに桜の木を植樹しました。初めは小さな木でしたが、20年が経ち、大きく立派な桜の木になりました。年月の重みを感じます。

また、姉妹校提携20周年を記念して姉妹校の理事長が来日したときにトウカエデとソメイヨシノが植えられました。2年半が経った現在も元気に成長しており、新たな20年を見守ってくれる存在になるでしょう。



● 20年前に植えられた桜の木

モニュメント

本校には国際交流を記念して建てられた記念碑がたくさんあります。

中でも目を引くのは、六方石で作られた記念碑です。左側には姉妹校提携書が、右側には共同宣言がそれぞれ金属板に転写されて飾られています。この記念碑は遠くオランダの方角を向いて立っており、周辺の植栽と合わせて本校中庭のシンボルとなっています。



● 20周年記念で植えられた木

姉妹校生徒が渥美農業高校を訪問します！

オランダからの訪問は平成23年を最後にしばらく途絶えていましたが、今年11月について再開し、姉妹校生徒10名程度が本校を訪問し、本校の生徒宅にホームステイすることになりました。授業にも参加するので、全生徒が交流できる機会となります。今後の国際交流活動に期待してください。



● オランダに向かって立つ記念碑